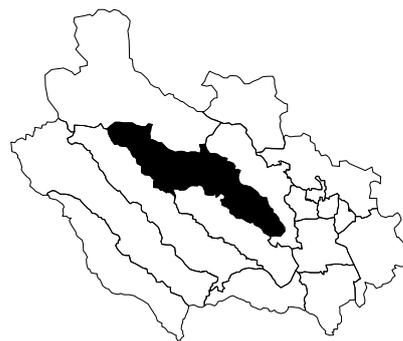


## 加蘇地区

### 1 加蘇地区の概況

面積	4,669ha [面積比 9.5%]
人口	1,937人 [人口比 2.0%] (平成28年9月1日現在推計人口)
土地利用	すべて都市計画区域外

市の中央部に位置し、荒井川が地域を潤し、  
県道石裂・上日向線が交通の根幹をなしている。



### 2 加蘇地区の環境特性

#### (1) 基礎調査における環境特性

##### 総合的状況（環境的要因での概況）

自然環境・生活環境は概ね良好である。

山地自然環境から里地自然環境に属し、人工改変度の少ない自然に恵まれた地域である。

##### 自然環境

植物・・・キンモウワラビ・ザゼンソウ・セッコクなどが確認されている。

動物・・・ホンドリスなどの小型哺乳類からツキノワグマなど大型種まで確認され、広葉樹林も多く残されているため、昆虫の種類も多い。

##### 生活環境

河川の水質等・・・地域の河川は荒井川で、大腸菌群数を除く環境基準は、概ね達成されている。

水生生物による水質評価は、「きれいな水」である。

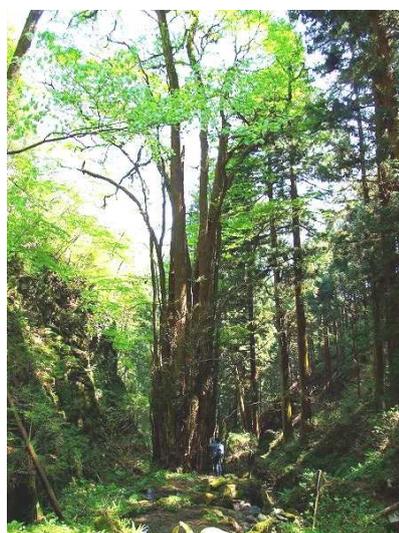
県指定天然記念物・・・加蘇山の千本かつら

市指定天然記念物・・・加蘇山神社のスギ

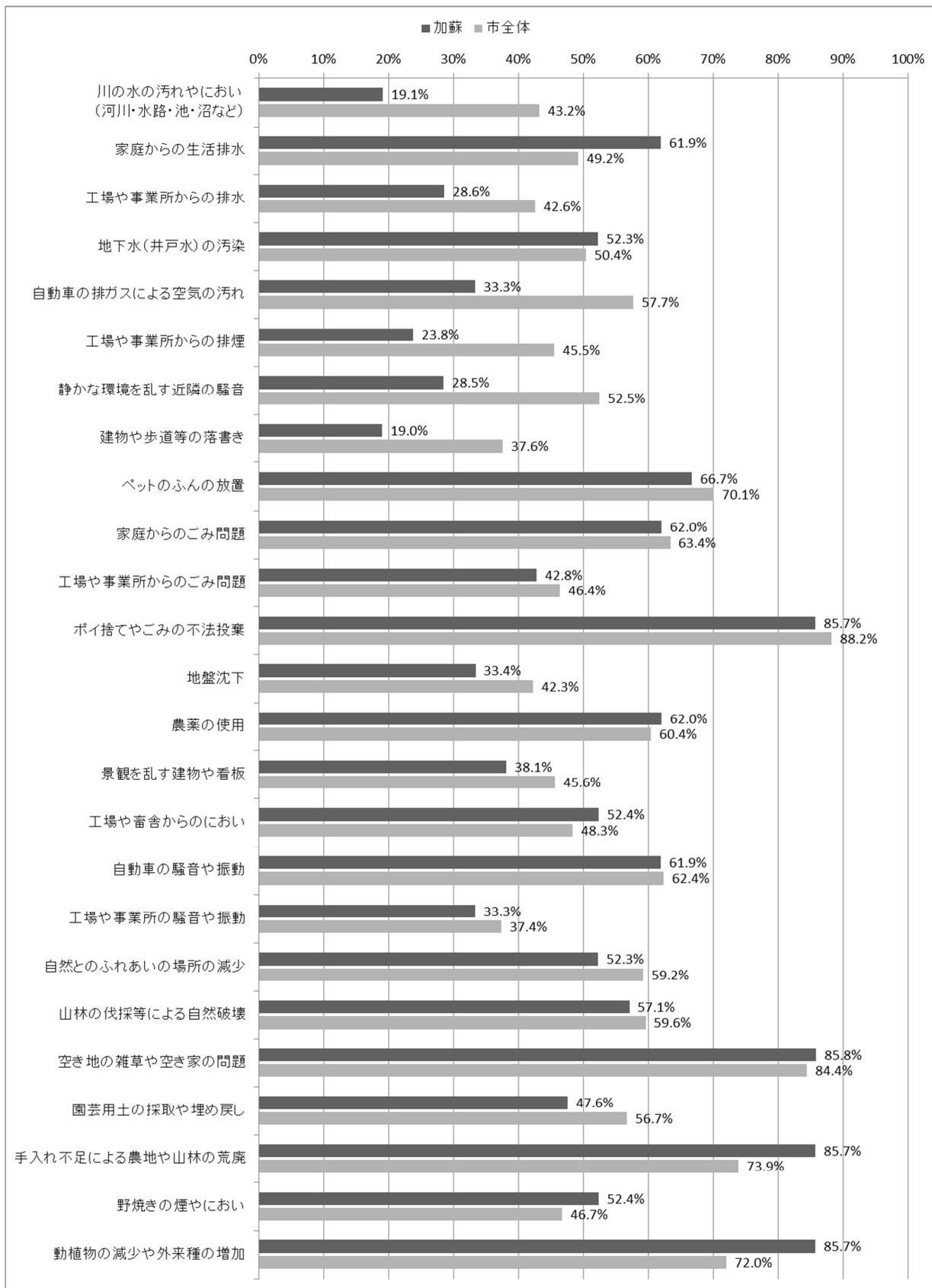
#### (2) 環境活動の状況（平成28年3月31日現在）

きれいなまちづくり推進員数	7人
きれいなえと団体	なし
資源ごみ回収団体	5団体

千本かつら



### 3 環境課題に関する関心度



#### 4 加蘇地区の重点環境課題

不法投棄・ポイ捨ての防止  
 水質汚濁の防止  
 空き地・空き家の適正管理  
 ごみ処理・リサイクルの推進  
 きれいなまちづくりへの参加、加蘇フラワーパーク構想の推進

#### 5 加蘇地区地域別行動指針と進行管理

取り組み内容（行動指針）	H27 年度 現状値	H33 年度 目標値	H38 年度 目標値
不法投棄・ポイ捨ての防止 ・地域の啓発活動の推進 ・加蘇地区クリーン診断の実施 ・不法投棄箇所の解消	実施 年 1 回 1 か所	実施 年 1 回 1 か所	実施 年 1 回 0 か所
水質汚濁の防止 ・地域内の河川・水路の清掃活動	年 2 回	年 2 回	年 2 回
空き地・空き家の適正管理 ・土地所有者、利用者との協力による空き地・ 空き家の見回り（市への連絡）	実施	実施	実施
ごみ処理・リサイクルの推進 ・ごみ分別の徹底 ・資源の有効活用（集団回収の促進）	実施 5 団体	実施 5 団体	実施 5 団体
きれいなまちづくりへの参加 ・きれいなまちづくりの地域での啓発 ・地域（道路・拠点施設）の清掃活動の実施 ・加蘇フラワーパーク構想の推進	実施 年 3 回 実施	実施 年 3 回 実施	実施 年 3 回 実施

## 北犬飼地区

### 1 北犬飼地区の概況

面積	2,612ha[面積比 5.3%]
人口	9,658人[人口比 9.8%] (平成28年9月1日現在推計人口)
土地利用	すべて都市計画区域
	市街化区域 [528ha]
	市街化調整区域 [2,084ha]
市の東南部に位置し、宇都宮市・壬生町に接する。 武子川が地域を潤し、東北縦貫自動車道路鹿沼 インターチェンジ、国道121号、さつきロード、 主要地方道宇都宮・楡木線、県道羽生田・鶴田線が 交通の根幹をなしている。	



### 2 北犬飼地区の環境特性

#### (1) 基礎調査における環境特性

##### 総合的状況(環境的要因での概況)

自然環境・生活環境は概ね良好。里地自然環境から平地自然環境に属し、人工  
改変度の多い地域であり、自然が小規模化されてわずかに残っている。

##### 自然環境

植物・・・ナガミヒナゲシ、イヌカキネガラシ、マメダオシなどが確認されてい  
る。

動物・・・わずかに残されている平地林と茂呂山を中心としてオオムラサキなど  
貴重な昆虫が生息している。

##### 生活環境

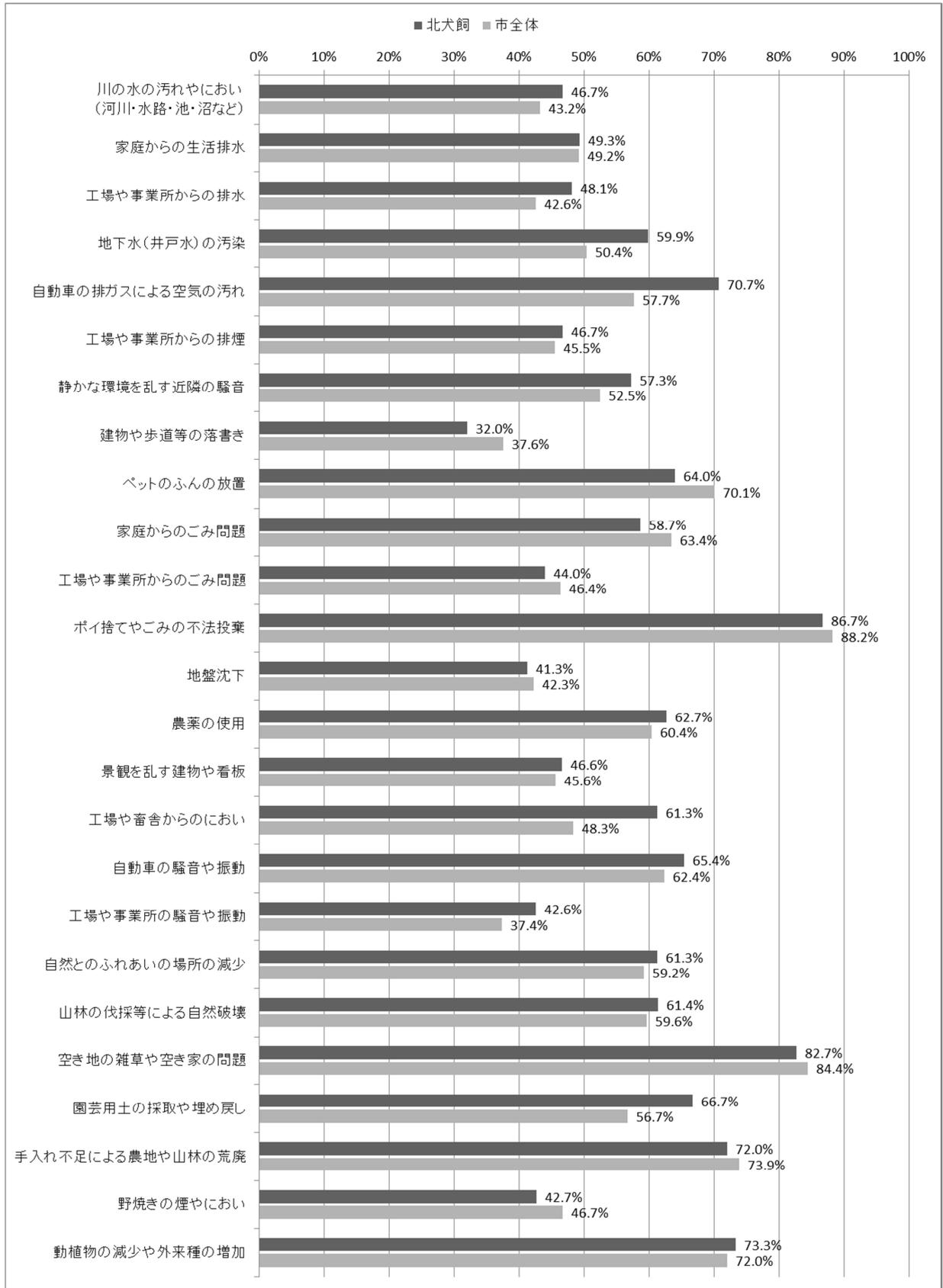
河川の水質等・・・地域の河川は武子川で、大腸菌群数を除く環境基準は、概ね  
達成されている。

水生生物による水質評価は、「きれいな水」である。

#### (2) 環境活動の状況(平成28年3月31日現在)

きれいなまちづくり推進員数	19人
きれいなえっと団体	6団体
資源ごみ回収団体	11団体

### 3 環境課題に関する関心度



#### 4 北犬飼地区の重点環境課題

不法投棄・ポイ捨ての防止  
 空き地・空き家の適正管理  
 水質汚濁の防止  
 大気汚染の防止  
 ごみ処理・リサイクルの推進  
 きれいなまちづくりへの参加

#### 5 北犬飼地区地域別行動指針と進行管理

取り組み内容（行動指針）	H27年度 現状値	H33年度 目標値	H38年度 目標値
不法投棄・ポイ捨ての防止 ・クリーン鹿沼の実施	年 13 回	年 12 回	年 12 回
空き地・空き家の適正管理 ・啓発活動の実施	年 0 回	年 1 回	年 1 回
水質汚濁の防止 ・河川の清掃活動（堀ざらい）	年 2 回	年 1 回	年 1 回
大気汚染の防止 ・啓発活動の実施（ちらしの配布）	年 0 回	年 1 回	年 1 回
ごみ処理・リサイクルの推進 ・集団回収団体数	11 団体	11 団体	11 団体
きれいなまちづくりへの参加 ・環境美化の日 ・きれいねっと活動 ・自治会の清掃活動 ・環境美化モデル団体活動	年 2 回 6 団体 実施 実施	年 2 回 6 団体 実施 実施	年 2 回 7 団体 実施 実施

マス釣り大会



## 東部台地区

### 1 東部台地区の概況

面積 309ha [面積比 0.6%]  
人口 16,555 人[人口比 16.9%]  
(平成 28 年 9 月 1 日現在推計人口)  
土地利用 すべて都市計画区域  
市街化区域 [309ha]  
市街地の東部に位置し、糠塚山と茂呂山に挟ませた地域で、主たる河川はない。  
国道 121 号、主要地方道宇都宮・鹿沼線、県道鹿沼環状線が交通の根幹をなしている。



### 2 東部台地区の環境特性

#### (1) 基礎調査における環境特性

##### 総合的状況（環境的要因での概況）

生活環境からは、交通に起因する大気汚染や騒音等の問題が伺える。

平地自然環境に属しているが、人工改変度は多い地域であるが、自然環境がわずかに残されている。

##### 自然環境

植物・・・該当する植物は少ない。

動物・・・イタチなど小型哺乳類が見られる。市街地としては、緑化に配慮がされているため、昆虫、鳥類の種類が多い。

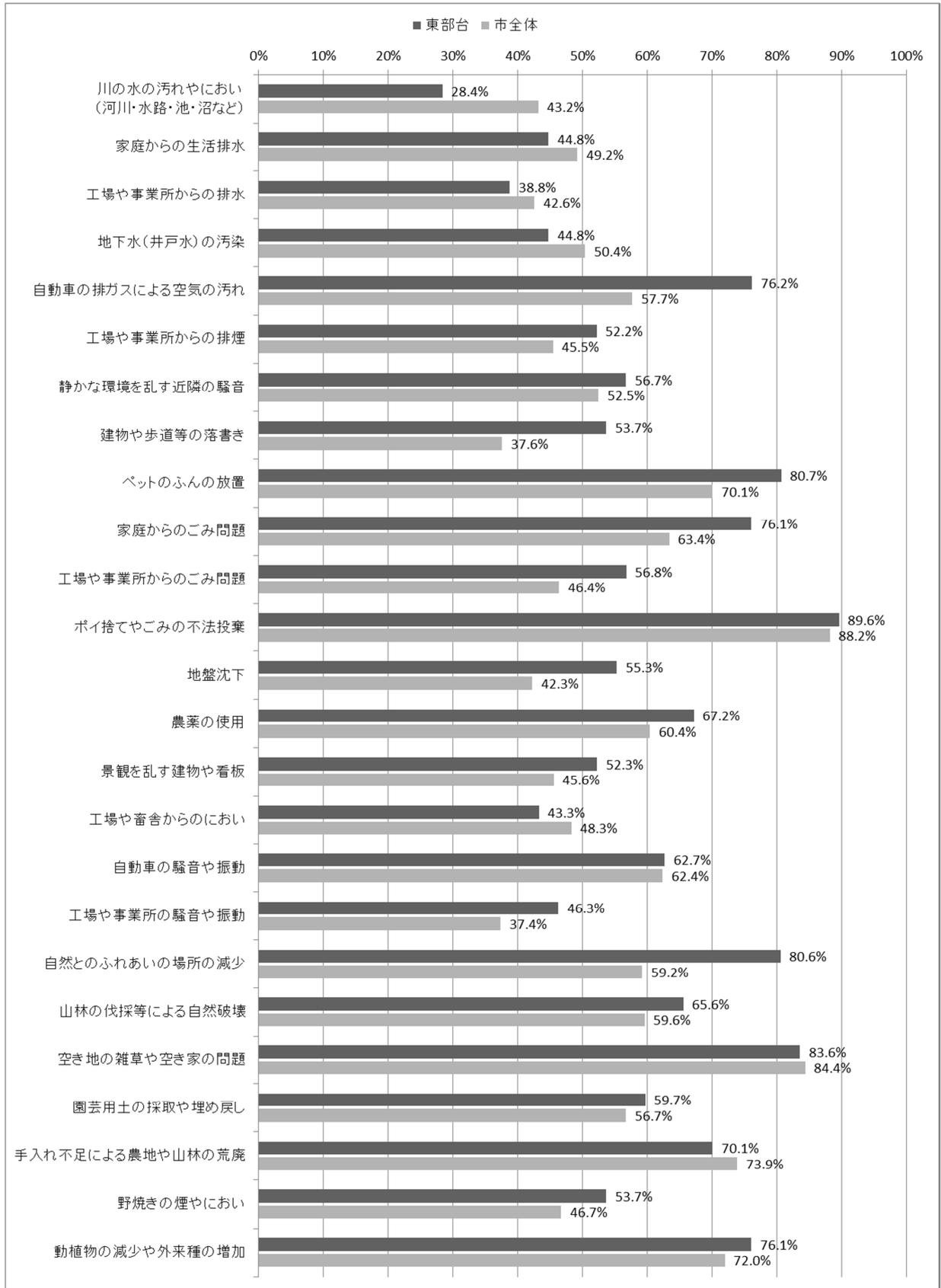
##### 生活環境

河川の水質・・・該当する河川はない。

#### (2) 環境活動の状況（平成 28 年 3 月 31 日現在）

きれいなまちづくり推進員数	37 人
きれいなえっと団体	4 団体
資源ごみ回収団体	13 団体

### 3 環境課題に関する関心度



#### 4 東部台地区の重点環境課題

不法投棄・ポイ捨ての防止  
 空き地・空き家の適正管理  
 ごみ処理・リサイクルの推進  
 きれいなまちづくりへの参加

#### 5 東部台地区地域別行動指針と進行管理

取り組み内容（行動指針）	H27 年度 現状値	H33 年度 目標値	H38 年度 目標値
不法投棄・ポイ捨ての防止 ・不法投棄・ポイ捨て防止の啓発活動 ・地域関係団体と協力した啓発活動の推進 （会報の内容充実・発行）	随時 年 1 回	随時 年 1 回	随時 年 1 回
空き地・空き家の適正管理 ・土地所有者、利用者との協力による空き地・ 空き家の管理指導 ・所有者不明地に対する行政の指導を支援	随時  随時	随時  随時	随時  随時
ごみ処理・リサイクルの推進 ・ごみ分別の徹底（啓発・指導） ・放置自転車対策（巡視・設置管理の要請） ・資源の有効活用（集団回収の促進） ・マイバック運動の推進（実践活動の充実） ・ごみ減量化への取組み（行政、商工団体と 連携して過剰包装抑制の呼びかけ）	随時 随時 13 団体 随時 随時	随時 随時 13 団体 随時 随時	随時 随時 13 団体 随時 随時
きれいなまちづくりへの参加 ・きれいなまちづくりの地域での啓発 （会報の内容充実・発行） ・犬の散歩時のマナー指導 ・地域の清掃活動の実施と関係団体との連携 ・花いっぱい運動の推進 ・茂呂山の清掃 ・きのこの栽培	年 1 回  年 0 回 随時 実施 年 1 回 年 4 回	年 1 回  年 1 回 随時 実施 年 1 回 年 4 回	年 1 回  年 1 回 随時 実施 年 1 回 年 4 回

みどりが丘小学校の花壇



## 南摩地区

### 1 南摩地区の概況

面積	3,002ha [面積比 6.1%]
人口	3,094 人 [人口比 3.2%] (平成 28 年 9 月 1 日現在推計人口)
土地利用	すべて都市計画区域外

市の中央部に位置し、大芦川と南摩川が地域を潤し、主要地方道鹿沼・足尾線、県道上久我・都賀・栃木線が交通の根幹をなしている。



### 2 南摩地区の環境特性

#### (1) 基礎調査における環境特性

##### 総合的状況（環境的要因での概況）

自然環境・生活環境は概ね良好である。

里地自然環境に属しているが、人工改変度は比較的少ない自然を含む地域である。

##### 自然環境

植物・・・セツブンソウ、ジガバチソウ、ヒカゲツツジなどが確認されている。

動物・・・鹿沼市では、サンコウチョウが渡って来る唯一の自然である。

ハンミョウなども発見され、自然度が高く残されている。

##### 生活環境

河川の水質等・・・地域の河川は大芦川、南摩川で大腸菌群数を除く環境基準は、概ね達成されている。

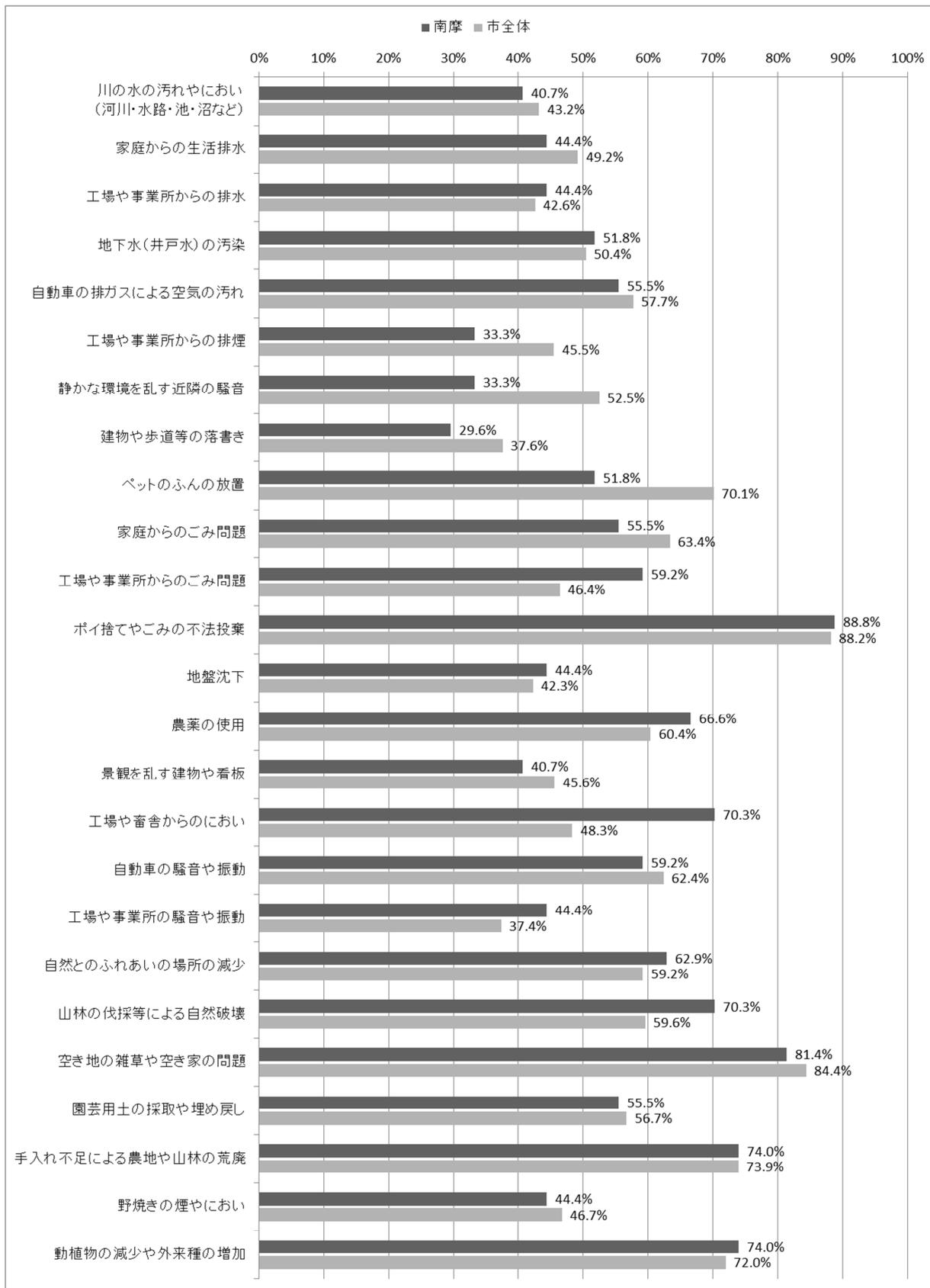
水生生物による水質評価は、「きれいな水」である。

県指定天然記念物・・・勝願寺の地蔵けやき

#### (2) 環境活動の状況（平成 28 年 3 月 31 日現在）

きれいなまちづくり推進員数	9 人
きれいなえっと団体	なし
資源ごみ回収団体	7 団体

### 3 環境課題に関する関心度



#### 4 南摩地区の重点環境課題

不法投棄・ポイ捨ての防止  
 悪臭の防止  
 環境教育の推進  
 森林の保全  
 ごみ処理・リサイクルの推進  
 きれいなまちづくりへの参加

#### 5 南摩地区地域別行動指針と進行管理

取り組み内容（行動指針）	H27 年度 現状値	H33 年度 目標値	H38 年度 目標値
不法投棄・ポイ捨ての防止 ・クリーン鹿沼の実施	年 1 回	年 1 回	年 1 回
悪臭の防止 ・事業者への協力要請 ・堆肥化センターの活用促進	実施 実施	実施 実施	実施 実施
環境教育の推進 ・子どもエコクラブ活動の推進	1 団体	1 団体	1 団体
森林の保全 ・高木校庭、城山ハイキングコースの整備への 協力	実施	実施	実施
ごみ処理・リサイクルの推進 ・ごみ分別の徹底 ・資源の有効活用（集団回収の促進）	実施 7 団体	実施 7 団体	実施 7 団体
きれいなまちづくりへの参加 ・環境美化の日への参加 ・不法投棄、ペットの糞対策等の看板の設置 ・きれいなまちづくりの地域での啓発 ・地域の清掃活動の実施 ・花いっぱい運動の推進	年 2 回 実施 実施 実施 実施	年 2 回 実施 実施 実施 実施	年 2 回 実施 実施 実施 実施

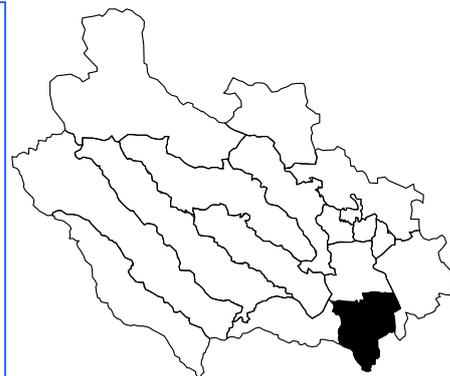
南摩中学校の花壇



## 南押原地区

### 1 南押原地区の概況

面積	1,806ha[面積比 3.7%]
人口	4,128人[人口比 4.2%] (平成28年9月1日現在推計人口)
土地利用	すべて都市計画区域 市街化区域 [35ha] 市街化調整区域 [1,771ha]
市の南部に位置し、栃木市、壬生町に接する。 黒川、小薮川が地域を潤し、東武鉄道榎木駅、 国道293号、国道352号、主要地方道宇都宮・ 榎木線、主要地方道宇都宮・亀和田・栃木線、 県道深程・榎木線が交通の根幹をなしている。	



### 2 南押原地区の環境特性

#### (1) 基礎調査における環境特性

##### 総合的状況(環境的要因での概況)

自然環境は概ね良好であり、生活環境は中小河川の汚濁が伺える。

平地自然環境に属しているが、人工改変度の比較的少ない小規模な森林を含む地域である。

##### 自然環境

植物・・・ヤナギモ、キンガヤツリ、カジノキなどが確認されている。

動物・・・フナなどの魚類が多く生息している。特に、黒川両岸の自然度が高く、オオタカが繁殖し、ノスリなども多い。

##### 生活環境

河川の水質等・・・地域の河川は黒川、小薮川で大腸菌群数を除く環境基準は、概ね達成されている。

水生生物による水質評価は、黒川、小薮川ともに「きれいな水」である。

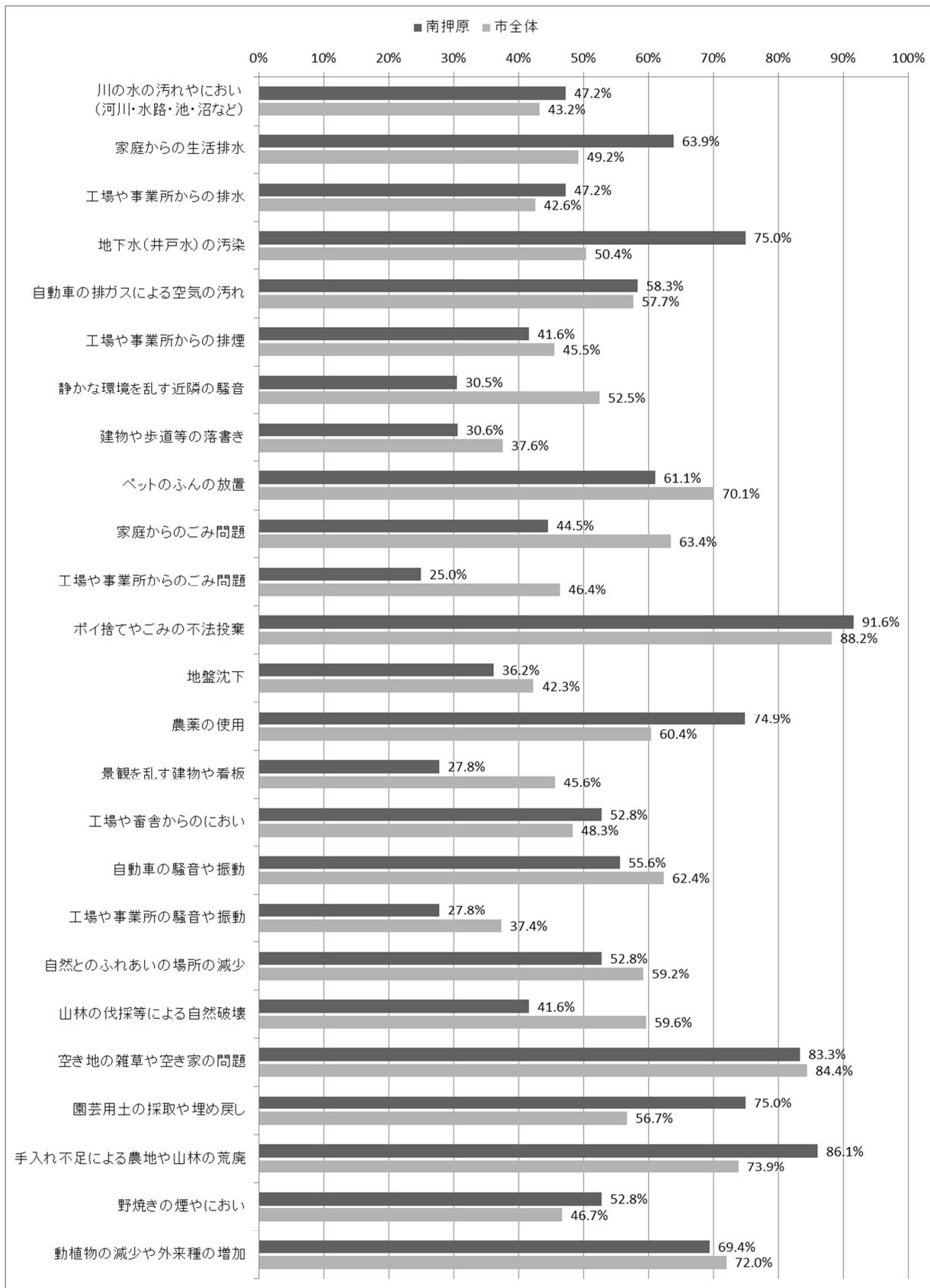
県指定天然記念物・・・成就院のしだれあかしで

市指定天然記念物・・・磯山神社のスギ

#### (2) 環境活動の状況(平成28年3月31日現在)

きれいなまちづくり推進員数	12人
きれいなえっと団体	なし
資源ごみ回収団体	4団体

### 3 環境課題に関する関心度



#### 4 南押原地区の重点環境課題

不法投棄・ポイ捨ての防止  
 空き地・空き家の適正管理  
 ごみ処理・リサイクルの推進  
 きれいなまちづくりへの参加  
 大気汚染の防止

#### 5 南押原地区地域別行動指針と進行管理

取り組み内容（行動指針）	H27 年度 現状値	H33 年度 目標値	H38 年度 目標値
不法投棄、ポイ捨ての防止 ・黒川河川清掃（クリーン鹿沼の実施）	年 1 回	年 1 回	年 1 回
空き地、空き家の適正管理 ・土地所有者、利用者との協力による空き地、 空き家の管理（市への連絡）	実施	実施	実施
ごみ処理、リサイクルの推進 ・ごみ分別の徹底 ・資源の有効活用（集団回収の促進）	実施 4 団体	実施 4 団体	実施 4 団体
きれいなまちづくりへの参加 ・きれいなまちづくりの地域での啓発 ・地域の清掃活動の実施 ・花いっぱい運動の推進	実施 年 2 回 実施	実施 年 2 回 実施	実施 年 2 回 実施
大気汚濁の防止 ・野焼き禁止の啓発・行政との連携	実施	実施	実施

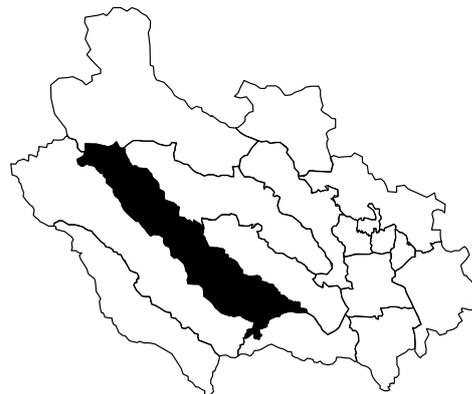
南押原コミュニティセンターの花壇



## 栗野地区

### 1 栗野地区の概況

面積	5,015ha [面積比 10.2%]
人口	3,045 人 [人口比 3.1%] (平成 28 年 9 月 1 日現在推計人口)
土地利用	一部都市計画区域 用途地域 [50ha] 用途無指定区域 [口栗野(用途地域を除く)、柏木] 市の西部に位置し、栗野川、思川が地域を潤し、 主要地方道鹿沼・足尾線、県道草久・栗野線が 交通の根幹をなしている。



### 2 栗野地区の環境特性

#### (1) 基礎調査における環境特性

##### 総合的状況(環境的要因での概況)

自然環境・生活環境は概ね良好。山地自然環境から里地自然環境に属し、人工改変度の少ない自然に恵まれた地域。

##### 自然環境

植物・・・クサノオウバングク、アカンスゲ、トキソウなどが確認されている

動物・・・栗野川流域を中心として豊かな自然度を残している。ヤマネが発見されたり、希少な生物も多い。

##### 生活環境

河川の水質・・・地域の河川は栗野川で大腸菌群数を除く環境基準は、概ね達成されている。

水生生物による水質評価は、「きれいな水」である。

県立公園・・・横根山を含む西部地域は、前日光県立公園に指定されている。

緑地環境保全地域・・・妙見寺境内林及び栗野城跡周辺

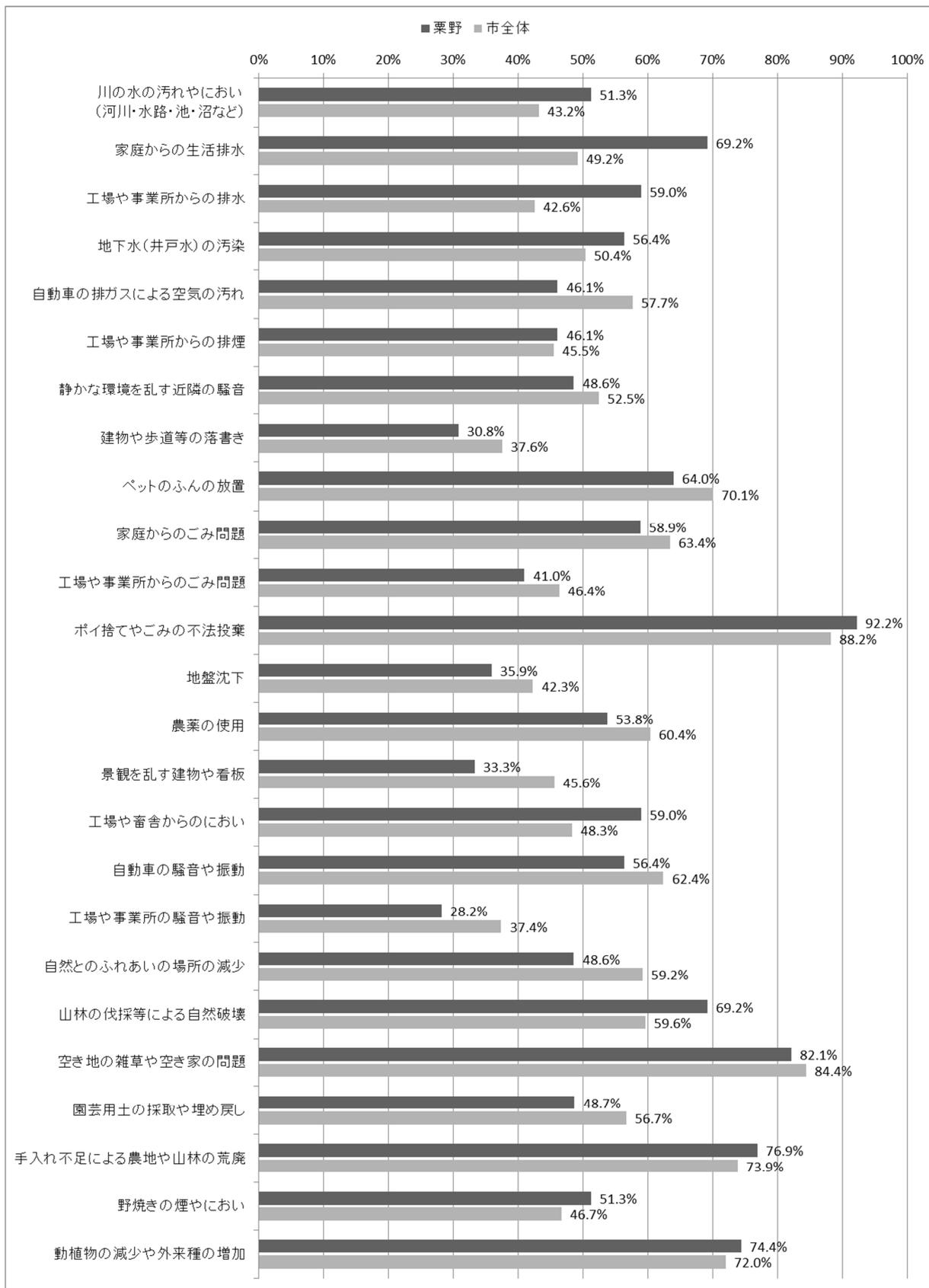
県指定天然記念物・・・栗野のカヤ

市指定天然記念物・・・叶台カヤの木

#### (2) 環境活動の状況(平成 28 年 3 月 31 日現在)

きれいなまちづくり推進員数	11 人
きれいなえっと団体	2 団体
資源ごみ回収団体	7 団体

### 3 環境課題に関する関心度



#### 4 栗野地区の重点環境課題

不法投棄・ポイ捨ての防止  
 空き地・空き家の適正管理  
 水質汚濁の防止  
 ごみ処理・リサイクルの推進  
 きれいなまちづくりへの参加

#### 5 栗野地区地域別行動指針と進行管理

取り組み内容（行動指針）	H27 年度 現状値	H33 年度 目標値	H38 年度 目標値
不法投棄・ポイ捨ての防止 ・地域の啓発活動（不法投棄箇所の調査等） ・地域の行動活動（クリーン鹿沼の実施）	実施 年 0 回	実施 年 2 回	実施 年 2 回
空き地・空き家の適正管理 ・土地所有者、利用者との協力による空き地、 空き家の見回り（地区で連携し環境美化の日 に除草実施）	年 2 回	年 2 回	年 2 回
水質汚濁の防止 ・排水対策（生活、事業系排水の環境負荷の 低減）の P R	年 0 回	年 1 回	年 1 回
ごみ処理・リサイクルの推進 ・ごみ分別の徹底 ・資源の有効活用（集団回収の促進）	実施 7 団体	実施 7 団体	実施 7 団体
きれいなまちづくりへの参加 ・きれいなまちづくりの地域での啓発 ・地域の清掃活動の実施（環境美化の日） ・花いっぱい運動の推進	実施 年 2 回 実施	実施 年 2 回 実施	実施 年 2 回 実施



中栗野の彼岸花群生地

## 粕尾地区

### 1 粕尾地区の概況

面積	6,994ha[面積比 14.3%]
人口	1,430人[人口比 1.5%] (平成28年9月1日現在推計人口)
土地利用	一部都市計画区域 用途無指定区域 【下粕尾、中粕尾のうち森、布施谷】 都市計画区域外 【それ以外の区域】

市の西部に位置し、日光市、栃木市、群馬県みどり市に接する。  
思川が地域を潤し、主要地方道鹿沼・足尾線が交通の根幹をなしている。



### 2 粕尾地区の環境特性

#### (1) 基礎調査における環境特性

総合的状況(環境的要因での概況)

自然環境・生活環境は概ね良好である。

山地自然環境から里地自然環境に属し、人工改変度の少ない自然に恵まれた地域である。

自然環境

植物・・・ヤエガワカンバ、サギスゲなどが確認されている。

動物・・・横根山から井戸湿原一帯は、昆虫から大型哺乳類まで種類も多い。特に、コルリ、キビタキなど夏鳥の宝庫である。

生活環境

河川の水質等・・・地域の河川は思川で大腸菌群数を除く環境基準は、概ね達成されている。

水生生物による水質評価は、「きれいな水」である。

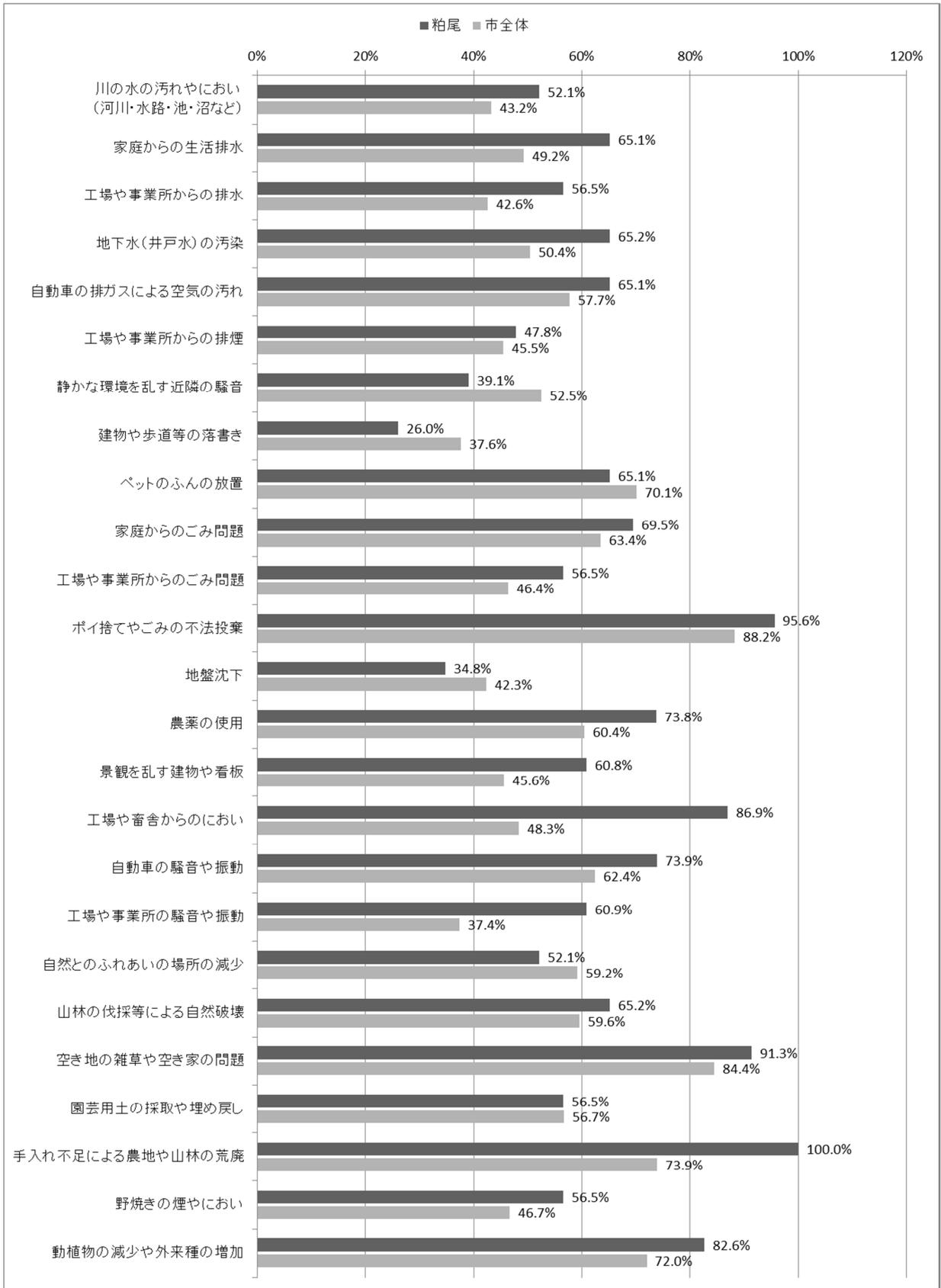
県立公園・・・井戸湿原を含む西部地域は、前日光県立公園に指定されている。

市指定天然記念物・・・日光神社 豊年杉

#### (2) 環境活動の状況(平成28年3月31日現在)

きれいなまちづくり推進員数	4人
きれいなえっと団体	なし
資源ごみ回収団体	3団体

### 3 環境課題に関する関心度



#### 4 粕尾地区の重点環境課題

不法投棄・ポイ捨ての防止  
 空き地・空き家の適正管理  
 野生動植物との共生  
 思川などの水質汚濁の防止  
 きれいなまちづくりへの参加

#### 5 粕尾地区地域別行動指針と進行管理

取り組み内容（行動指針）	H27年度 現状値	H33年度 目標値	H38年度 目標値
不法投棄・ポイ捨ての防止 ・地域の啓発活動の推進	実施	実施	実施
空き地・空き家の適正管理 ・土地所有者、利用者との協力による空き家の管理（市への連絡）	未実施	実施	実施
野生動植物との共生 ・和田用水「ほたるの里」の保全活動 ・行政との連携による有害鳥獣の被害防止と安全対策	年1回 通年	年1回 通年	年1回 通年
思川などの水質汚濁の防止 ・河川等の清掃活動の実施	年1回	年1回	年1回
きれいなまちづくりへの参加 ・きれいなまちづくりの地域での啓発 ・地域の清掃活動の実施 ・花いっぱい運動の推進	実施 年2回 未実施	実施 年2回 実施	実施 年2回 実施

粕尾地区クリーン鹿沼



## 永野地区

### 1 永野地区の概況

面積	3,774ha [面積比 7.7%]
人口	1,190人 [人口比 1.2%] (平成28年9月1日現在推計人口)
土地利用	すべて都市計画区域外

市の南西部に位置し、栃木市、佐野市に接する。  
永野川が地域を潤し、主要地方道栃木・粕尾線、  
県道上永野・下永野線が交通の根幹をなしている。



### 2 永野地区の環境特性

#### (1) 基礎調査における環境特性

総合的状況（環境的要因での概況）

自然環境・生活環境は概ね良好である。

山地自然環境から里地自然環境に属し、人工改変度の少ない自然に恵まれた地域である。

自然環境

植物・・・ギンバイソウ、サツキヒナノウスツボ、イワツクバネウツギなどが確認されている。

動物・・・地形的に渡り鳥のコースのためか、ヤツガシラ、アカショウビンなど希少鳥類が次々と確認されている。

生活環境

河川の水質・・・地域の河川は永野川で大腸菌群数を除く環境基準は、概ね達成されている。

水生生物による水質評価は、「きれいな水」である。

自然環境保全地域・・・与洲「ニホンザル生息地」

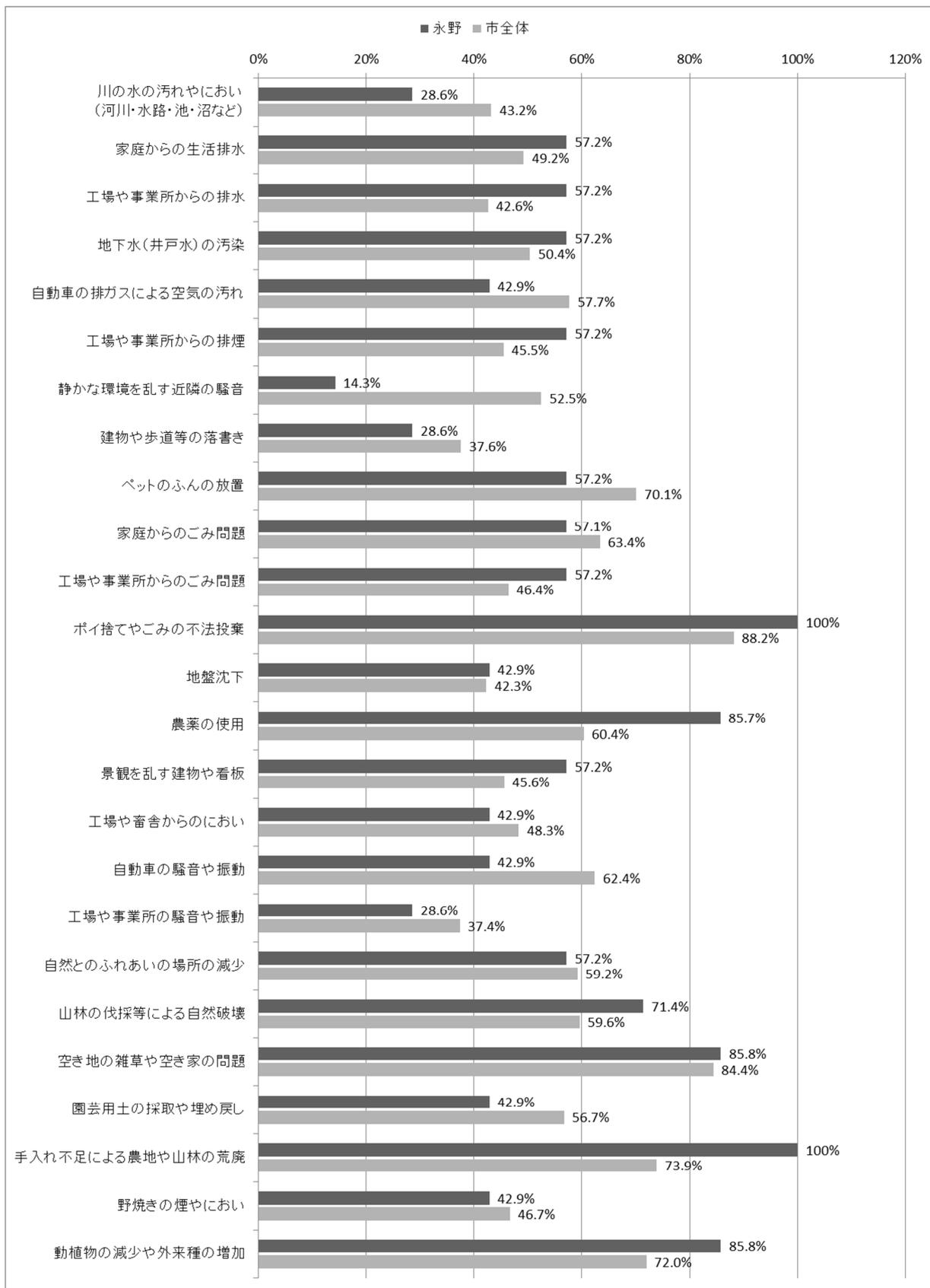
尾出山「ブナ天然林及びウラジロヒカゲツツジの自生地」

市指定天然記念物・・・尾出山神社のモミ

#### (2) 環境活動の状況（平成28年3月31日現在）

きれいなまちづくり推進員数	3人
きれいなえっと団体	なし
資源ごみ回収団体	3団体

### 3 環境課題に関する関心度



#### 4 永野地区の重点環境課題

不法投棄・ポイ捨ての防止  
 空き地・空き家の適正管理  
 水質汚濁・悪臭の防止  
 有害鳥獣対策  
 きれいなまちづくりへの参加

#### 5 永野地区地域別行動指針と進行管理

取り組み内容（行動指針）	H27 年度 現状値	H33 年度 目標値	H38 年度 目標値
不法投棄・ポイ捨ての防止 ・クリーン鹿沼の実施 ・地域の巡回、不法投棄物の早期撤去	年 0 回 実施	年 1 回 実施	年 1 回 実施
空き地・空き家の適正管理 ・土地所有者、利用者との協力による空き地、 空き家の見回り（草刈り・除草の行政連絡）	実施	実施	実施
水質汚濁・悪臭の防止 ・生活排水に対する啓発活動 ・事業者の協力の要請	未実施 未実施	実施 実施	実施 実施
有害鳥獣対策 ・行政との連携による被害の防止と安全対策	実施	実施	実施
きれいなまちづくりへの参加 ・環境美化の日の清掃活動 ・草刈り	年 2 回 年 1 回	年 2 回 年 1 回	年 2 回 年 1 回

永野地区クリーン鹿沼



## 清洲地区

### 1 清洲地区の概況

面積	1,949ha[面積比 4.0%]
人口	2,618人[人口比 2.7%] (平成28年9月1日現在推計人口)
土地利用	すべて都市計画区域 用途地域 [宇都宮西中核工業団地 61.5ha] 用途無指定区域 [それ以外の区域]

市の南部に位置し、栃木市に接する。  
思川が地域を潤し、主要地方道鹿沼・足尾線、  
主要地方道栃木・栗野線、県道深程・榆木線、  
県道上久我・都賀・栃木線が交通の根幹をなしている。



### 2 清洲地区の環境特性

#### (1) 基礎調査における環境特性

総合的状況（環境的要因での概況）

自然環境・生活環境は概ね良好である。

里地自然環境に属し、人工改変度は比較的多いが、人工改変度が比較的小さい  
河川や小規模な森林を含んでいる。

自然環境

植物・・・スズメノカタビラなどが確認されている。

動物・・・自然度の高さが保たれているため、多くの動物が見られる。特に、ハ  
ヤブサの生息が確認されている。

生活環境

河川の水質・・・地域の河川は思川で大腸菌群数を除く環境基準は、概ね達成さ  
れている。

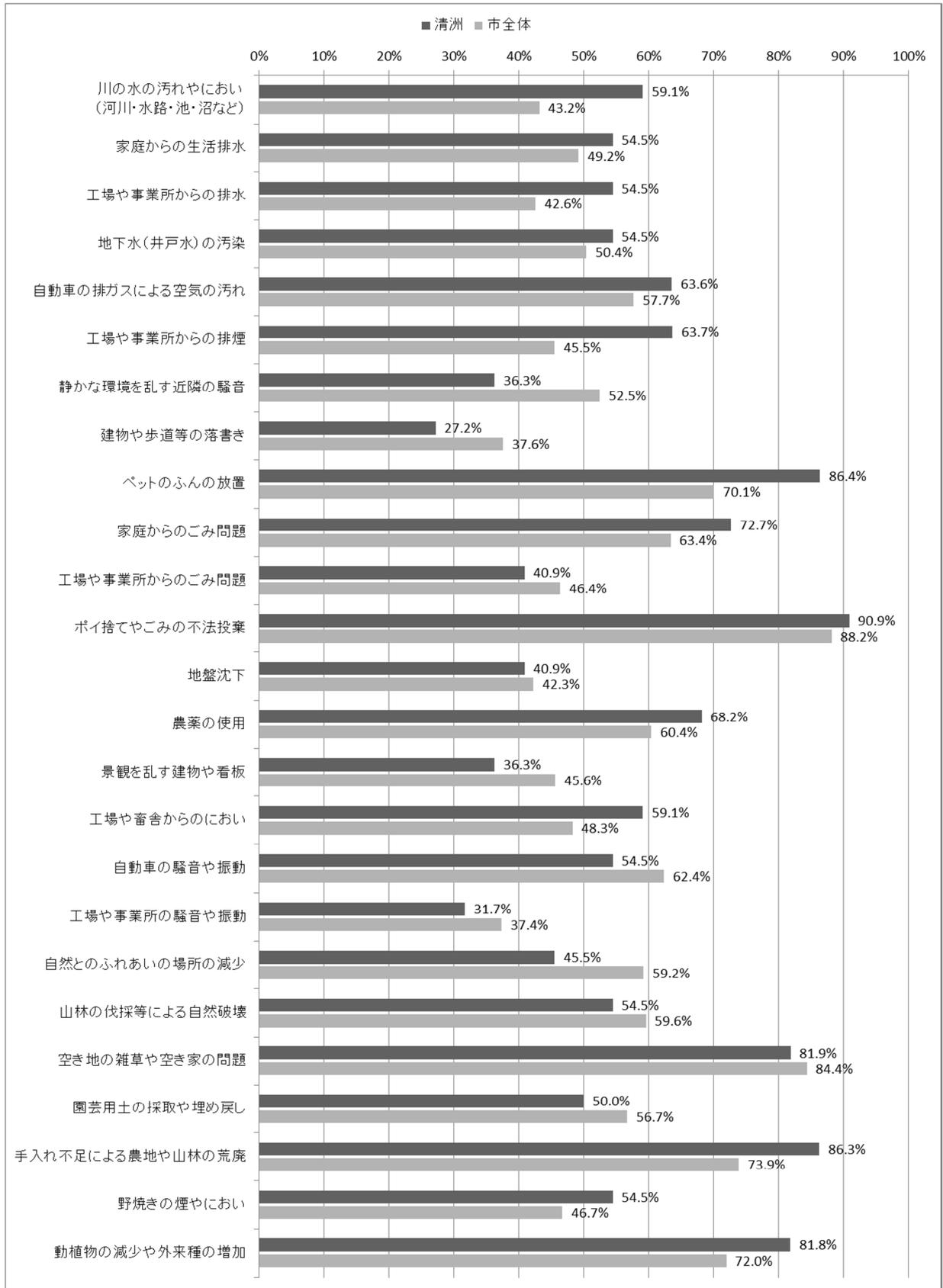
水生生物による水質評価は、「きれいな水」である。

緑地環境保全地域・・・医王寺境内林

#### (2) 環境活動の状況（平成28年3月31日現在）

きれいなまちづくり推進員数	6人
きれいなえっと団体	なし
資源ごみ回収団体	5団体

### 3 環境課題に関する関心度



#### 4 清洲地区の重点環境課題

不法投棄・ポイ捨ての防止  
 空き地・空き家の適正管理  
 水質汚濁及び悪臭の防止  
 有害鳥獣対策  
 ごみ処理・リサイクルの推進  
 きれいなまちづくりへの参加



清洲第一小学校の花壇

#### 5 清洲地区地域別行動指針と進行管理

取り組み内容（行動指針）	H27 年度 現状値	H33 年度 目標値	H38 年度 目標値
不法投棄・ポイ捨ての防止 ・地域の巡回、不法投棄物の早期撤去 ・ペットのふん対策（対策看板設置等）	実施 -	実施 実施	実施 実施
空き地・空き家の適正管理 ・土地所有者、利用者との協力による空き地・ 空き家の見回り（草刈り・除草の行政連絡）	年 1 回	年 1 回	年 1 回
水質汚濁及び悪臭の防止 ・排水対策（生活、事業系排水の環境負荷の 低減）の PR ・事業者への協力要請	年 0 回 年 0 回	年 1 回 年 1 回	年 1 回 年 1 回
有害鳥獣対策 ・行政との連携による被害の防止と安全対策	年 0 回	年 1 回	年 1 回
ごみ処理・リサイクルの推進 ・ごみ分別の徹底 ・資源の有効活用（集団回収の促進）	実施 5 団体	実施 5 団体	実施 5 団体
きれいなまちづくりへの参加 ・きれいなまちづくりの地域での啓発 ・地域の清掃活動の実施	年 1 回 年 2 回	年 1 回 年 2 回	年 1 回 年 2 回